

FVI「声なき者の友」の輪
Friends with the Voiceless International



2026年 夏号

URL : <http://www.karashi.net/>

日本の国技「相撲」のトリビア

「あなたの名は、もうヤコブとは呼ばれない。イスラエルだ。」（創世記 32:28a）

外国生まれの力士が約 60 名にも達した今、大相撲夏場所で福島出身の若隆景が優勝し日本中が盛り上がりました。元・貴乃花親方の花田光司氏が（2018 年 11 月 27 日放映・日本テレビの情報番組「スッキリ」）で「相撲って日本語じゃない。ヘブライ語なんです」と語ったことによって相撲の起源に目を向けた人も多かったことです。イスラエル民族の祖・ヤコブが神の使いと格闘し「イスラエル」という新しい名前を授けられた際、“彼の名前は”という意味のヘブル語が「“シュモー” מִשְׁמֹה」だったことが根拠にされているようです。

愛媛県大三島の大山祇神社の神事「独り相撲」もヤコブの物語を想起させます。相撲の故実伝承の家元とされる熊本の吉田司家 25 世・吉田追風氏は「本来の相撲は神と共に行う神事だった」と述べ、「日本の中のユダヤ」を著した川守田英二氏は、行司が発する不思議な掛け声“はっけーよい・のこった”についてこれはヘブル語で“汝撃つべし、やっつけろ、汝相手を撃ち破りぬ”であると述べています。西のエルサレム（平安の都）と東の平安京を結んでいた交易路「シルクロード」に沿って相撲と類似した格闘技があり、日本の相撲界に約 60 名の力士がこれらの国から来ていることを鑑みると、相撲の起源を旧約聖書・創世記に求めるロマンを感じさせられます。

「声なきものの友」の輪 神田英輔

* F V I の働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。 献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。